

高知県中山間地域再興ビジョン（概要）〈令和6年3月策定〉

1 ビジョンの構成

ビジョンは、「①10年後の将来ビジョン」と「②4年間のアクションプラン（行動計画）」の2つから構成

①10年後の将来ビジョン

中山間地域の「**10年後（R15年度）に目指す将来像**」と、それが実現した「テーマごとの10年後の姿」を、具体的な数値目標とともに明記するもの

②4年間のアクションプラン（行動計画）

「**①10年後の将来ビジョン**」の実現に向けた**4年間の行動計画**であり、具体的な行動とKPI（成果を客観的に評価する指標）を明記するもの

2 計画期間

アクションプランの期間である4年間（令和6～令和9年度）を計画期間

3 対象地域

地域振興5法（※）の対象地域、全34市町村が該当（27市町村（全域）、7市町村（一部））

面積 (km ²)		
県全体	中山間地域	割合
7,104	6,627	93.3%
人口 (人)		
県全体	中山間地域	割合
691,527	264,046	38.0%

令和3年度集落実態調査より作成



4 ビジョンの推進体制

知事をトップに関係部局で構成する庁内組織「**中山間総合対策本部**」及び、市町村や地域団体の代表者、学識経験者等で構成する「**中山間地域再興ビジョン推進委員会（仮称）**」において、PDCAサイクルにより取組状況を点検・検証し、必要な対策の追加や見直しを行い、**毎年度、ビジョンの改定を行う。**

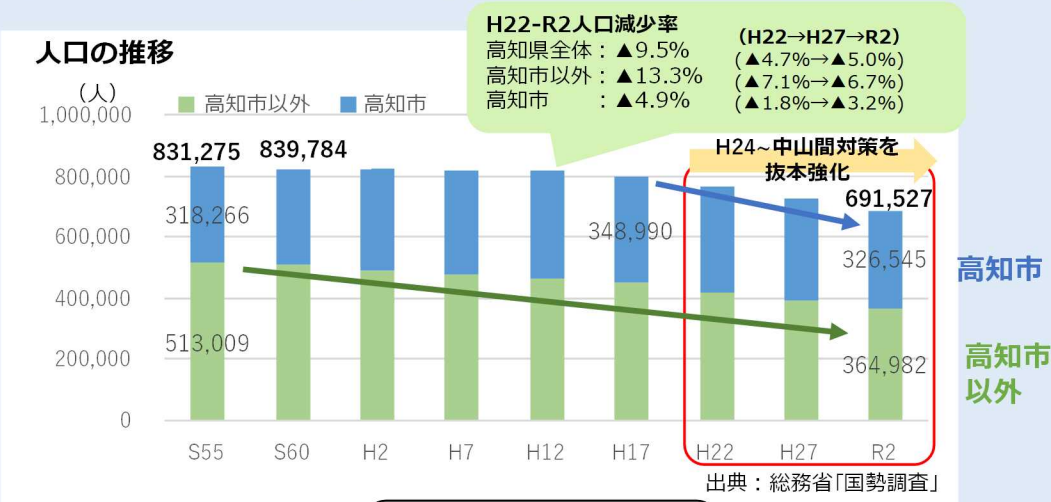
6 基本的な考え方

- 県土の9割を占め、県民の4割が暮らす**中山間地域の再興なくして県勢浮揚はなし得ない。**
- この考えのもと、「中山間地域再興ビジョン」において、中山間地域を再興し、人口を維持、早期反転、安定化させることで、県全体の人口構造を下支えし、もって県土の持続的な発展を目指す。
- そのためには、**県と市町村が連携し、中山間地域の若者と子どもの人口のこれ以上の減少を食い止め、増加に転じさせることで、人口の若返りを図り、持続可能な人口構造へと転換することが何よりも重要**であることから、ビジョンの**目指す姿の中心に「若者の人口増加」**を掲げ、**少子化対策と一体となった新たな中山間対策を推進する。**

※進学や就職、結婚、出産はそれぞれの自由な意思決定に基づくことであり、多様な価値観や考え方が尊重されるべきであることを前提として、若者のこれらの希望が叶えられる高知県を目指す。

5 現状

中山間地域の人口はS35以降減少が続いており、減少率は県全体を上回る。



若者世代、特に女性の人口流出

高知市以外では女性の人口が男性に比べて大幅に少ない

15～34歳の転出超過数の男女構成

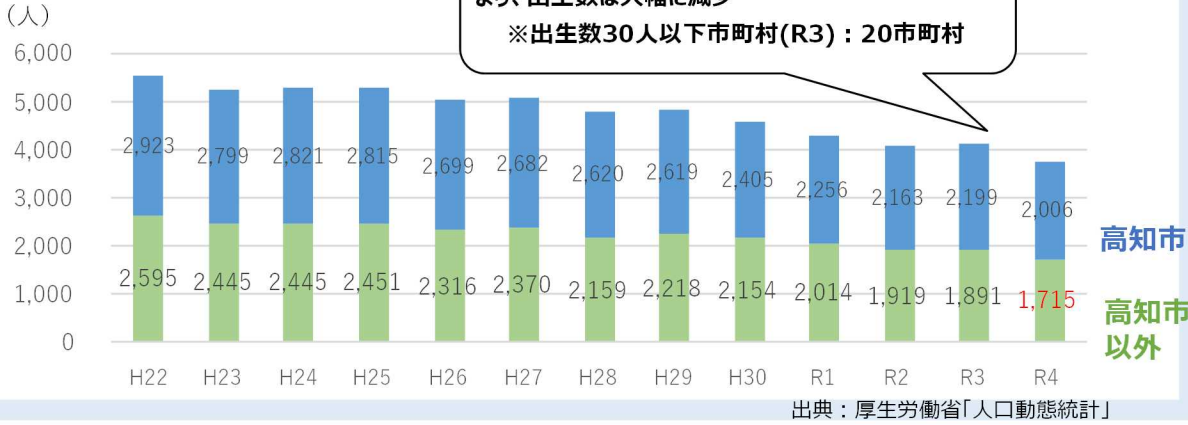
	H30～R4計
総数 (a)	6,778
男	3,130
女 (b)	3,648
b/a	53.8%

若者世代（15歳～34歳）の人口減少（H22～R2）

単位：人、%

	高知市			高知市以外		
	R2人口 (15-34歳)	増減 (H22比)	減少率	R2人口 (15-34歳)	増減 (H22比)	減少率
男性	27,829	▲6,941	▲20.0	27,355	▲9,407	▲25.6
女性	28,972	▲8,666	▲23.0	23,654	▲9,219	▲28.0
男女計	56,801	▲15,607	▲21.6	51,009	▲18,626	▲26.7

出生数の減少



① 10年後の将来ビジョン

地域に若者が増えた持続可能な人口構造のもと、デジタル技術の活用などにより、地域で安心して生活ができる環境が維持され、地域に多様な仕事があり、誰もが将来に希望を持って暮らし続けることができる、活力ある中山間地域

＜数値目標（10年後）＞
「目指す将来像」の実現のために
目指すべき重要な目標

- ①若者のうち、減少、流出の著しい**34歳以下の人口**について、中山間地域のすべての市町村で**令和4年よりも増加**を目指す
②**出生数**について、中山間地域のすべての市町村で**令和4年よりも増加**を目指す

※令和4年の34歳以下の人口:高知県全域179,837人（高知市除く84,780人）、令和4年の出生数:高知県全域3,721人（高知市除く1,715人）

柱1 若者を増やす

第1策 若者の定着・増加と人づくり

県外からの移住や地元での定住により若者、特に女性が増加し、産業や地域活動等の担い手として活躍している。多くの子ども達が、地元で学びながら地域と関わり、郷土への誇りと愛着が育まれている。



＜数値目標（10年後）＞

- 県外からの年間移住者数（※）：5,000人以上（R4：1,185組1,730人）
- 地元高校への進学率：50%（R5年度入学31.3%）
- 県内就職率（※）：高校生75%、専門学校生80%、県内大学生42%、県外大学生28%
〔R5.3卒実績：高校生71.6%、専門学校生72.8%、県内大学生36.0%〕
県外大学生21.3%
- すべての市町村で20～34歳の年齢層における女性の割合がR2全国平均（49%）を上回る
- 婚姻件数の増加（R4：972組）

柱2 暮らしを支える

第2策 生活環境づくり

生活用水や生活用品、移動手段等、暮らし続けるために必要となる生活環境が維持されている。



第3策 安全・安心の確保

地域での見守り機能が維持されるとともに、地理的条件が不利な地域においても、医療・福祉サービスへのアクセスが確保されている。また、地域の防災力が高まっている。



＜数値目標（10年後）＞

- 居住地における買い物手段の確保 100%
- 居住地における移動手段の確保 100%
- 居住地における医療の提供 100%
- 居住地における在宅介護サービスの提供 100%

柱3 活力を生む

第4策 集落の活性化

集落活動センターや「小さな集落」等、住民主体の組織が中心となり、多様な人材が交流しながら集落の活性化に向けた取り組みが行われている。



＜数値目標（10年後）＞

- 集落活動センター開設数：95カ所（R5.6月末時点 66カ所）
- 活動を継続している無形民俗文化財（国・県・市町村指定）の数：120件（R4年度：95件）
- 世界無形文化遺産の登録数：11件（風流踊、神楽）（R4末：0件）

第5策 地域の伝統的な祭りや民俗芸能の維持・継承・活用

地域の伝統的な祭りや民俗芸能が継続して催され、地域が賑わい、次世代へ引き継がれている。



柱4 しごとを生み出す

第6策 基幹産業の振興と地域の資源を活用した付加価値の高い産業の創出

農林水産業等の生産性向上が図られ、若者が新たな担い手として活躍している。また、地域の食・自然・文化を生かした付加価値の高い産業が展開され、若者の雇用が生まれている。



＜数値目標（10年後）＞

- 就業人口（15～64歳）の増加（R2：129,591人）
- 女性就業者数（15～34歳）の増加（R2：12,848人）
- 起業件数の増加（R2：262件※）※起業を含む開設事業所数

第7策 起業等による仕事の創出

移住者や地域の若者等の起業や継業により、地域の魅力や活力が高まっている。また、IT・コンテンツ企業等の立地や、都市部から移住しリモートワークをする若者が増えている。



第8策 デジタル技術の活用

中山間地域のニーズに合った通信環境が整備され、日常生活の不便さや担い手不足等、中山間地域の様々な課題を解決するためにデジタル技術の活用が進んでいる。



＜数値目標（10年後）＞

- 居住地等におけるブロードバンド整備率：100%（R4末：99.13%）

② 4年間のアクションプラン（行動計画）

全128のアクションプラン（うち主要なアクションプラン：65）により、少子化対策と一体となった新たな中山間対策を進める。

柱1 若者を増やす

主な4年後（R9年度）KPI
（）内はR4年度現状値

第1策

若者の 定着・ 増加と 人づくり

1 移住・定住の促進

- 若者や女性をターゲットとしたUターン・Iターンの促進
 - 〔県外からの移住者数：3,000人以上（1,730人）〕

- 空き家の掘り起こし

〔空き家の掘り起こし件数：1,590件（R4見込：1,075件）〕

- 地域おこし協力隊の確保・育成
- 特定地域づくり事業協同組合の設立の促進
- 関係人口へのアプローチ強化

2 新規学卒者等の県内就職の促進

- 県内就職に関する情報発信と県内企業の採用力向上の支援
 - 〔県内就職率（県内出身県外大学生）：24.0％（21.3％）〕

- 地域への理解と愛着を育むキャリア教育等の推進

3 女性活躍の環境づくりの推進

- 働きやすい職場づくりの推進
- 建設業における女性活躍の支援
- 農林水産業における女性や若者をターゲットにした担い手の育成・確保
 - 〔新規就農者数：280人（196人）〕
- 女性デジタル人材の育成支援

4 出会い・結婚・出産・子育てへの支援

- 多様な交流機会の拡充と結婚支援
 - 〔県マッチング事業での成婚数：R6-9累計160組（24組）〕

- 理想の出生数を叶える施策の推進

- 住民参加型の子育て支援

5 「共働き・子育て」の推進

- 職場及び地域社会における固定的な性別役割分担意識の解消

〔県内企業における男性の育児休業取得率：64％（R3:15.8％）〕

6 中山間地域の教育の振興

- 中山間地域における高等学校の魅力化促進
- 遠隔教育の推進
 - 〔中山間地域の高校における遠隔授業等受講生徒の進路実現率：100％（87％）〕

7 文化芸術とスポーツの振興

- 「国民文化祭」の開催
- 地域に根ざした住民主体のスポーツ活動の推進

柱2 暮らしを支える

第2策

生活環境づくり

1 生活用水や生活用品を確保するための環境整備

- 生活用水の確保に向けた環境整備

- 〔生活用水施設デジタル技術導入地区数（累計）：16地区（2地区）〕
- 生活用品を確保するための環境づくり

2 地域交通の維持・確保

- 市町村内のきめ細かな移動手段の充実・確保に向けた支援

- 〔デマンド型交通の導入市町村数：34市町村（15市町村）〕

- 県境や市町村をまたいで運行される移動手段の確保に向けた支援
- 県内外でのPRを通じた運転士の確保

3 鳥獣被害対策等の推進

- 有害鳥獣の捕獲推進
- 狩猟者の確保・育成

第3策

安全・安心の確保

1 地域医療体制の確保

- へき地医療の体制確保
- オンライン診療による医療提供体制の確保

〔無医地区・準無医地区内の住民に身近な場所におけるオンライン診療体制の整備率：15市町村（100％）（2市町村（13％））〕

2 高知型地域共生社会の推進

- あったかふれあいセンターの機能強化
- 住民参加型の子育て支援【再掲】

3 福祉介護サービスの充実支援

- 高知版地域包括ケアシステムの深化・推進
 - 〔在宅介護サービスの充足率：100％（96.34％）〕

- 福祉・介護人材の確保対策と介護現場の生産性の向上

4 地域防災力の強化

- 自主防災活動の活性化
- 土砂災害が発生しても犠牲者ゼロとなる県土づくり
- 中山間地域の実情に応じた道路の整備

5 安全安心に暮らせる社会づくり

- 消費者問題に関する身近な地域での啓発の充実

柱3 活力を生む

第4策

集落の活性化

1 集落活動センターの推進

- 集落活動センターの設立と活性化の推進

〔集落活動センターの設立：83か所（65か所）〕

- 小さな集落活性化の横展開による地域活性化の仕組みづくり

2 農村の保全

- 農村型地域運営組織（農村RMO）の形成推進による集落の活性化
 - 〔国の交付金を活用した農村RMOの数（累計）：8（4）〕

3 多様な世代が交流する「場」の創出

- 県立大学による地域の活性化・人材育成の仕組みづくり
- 関係人口へのアプローチ強化【再掲】

第5策

地域の伝統的な祭りや 民俗芸能の維持・継承・活用

1 地域の伝統的な祭りや民俗芸能の維持・継承・活用

- 学生や企業等との連携による民俗芸能等の担い手確保
- 民俗芸能の収益力向上と観光ルートづくりへの支援
- 伝統的な祭りや民俗芸能の保存活動・用具整備等への支援

〔県文化財保存事業費補助金（民俗芸能の公開、伝承、用具整備等への補助）を交付した団体数：R5-9累計180団体（9団体）〕

- 「国民文化祭」の開催【再掲】
- 伝統的な祭り・民俗芸能のデジタルアーカイブ化

2 世界無形文化遺産への登録を目指す取り組みの推進

- 国重要無形民俗文化財・ユネスコ世界無形文化遺産への登録を目指した取り組みの推進

柱4 しごとを生み出す

第6策

基幹産業の振興と地域の資源を 活用した付加価値の高い産業の創出

1 農林水産業の振興

- 農業のデジタル化による生産性の向上
 - 〔IoTクラウドSAWACHI利用農家数：3,530（740）〕

- スマート農業の推進による労働生産性や反収の向上

- スマート林業の推進

- デジタル技術を活用した効率的な漁業生産体制への転換（高知マリンイノベーションの推進）
- 集落等における特用林産の振興

2 地域の資源を活用した付加価値の高い産業づくり

- 産業振興センターによる企業伴走支援
- アドバイザーの派遣や補助制度等による商品開発や生産性向上の促進
 - 〔地産外商公社が支援する企業の県外売上額：518億円（447億円）〕

- 「極上の田舎、高知。」をコンセプトとした観光商品づくり
 - 〔新たな観光商品数：200商品（0）〕
- 宿泊施設を中心とした長期滞在の促進

3 産業人材の育成

- 土佐まるごとビジネスアカデミーによる産業人材の育成

第7策

起業等による仕事の創出

1 地域産業の振興

- 地域アクションプランの取り組みによる雇用創出
 - 〔地域APによる雇用創出数：R6-9累計400人（R2-4累計232人）〕

2 企業誘致の推進

- 企業立地の推進
 - 〔企業立地件数：R6-9累計36件（R2-4累計27件）〕
- 新たな工業団地の開発

3 起業や事業承継の促進

- 起業に関する学びの機会の創出や伴走支援による新たな生業、仕事の創出
 - 〔県のサポート（こうちスタートアップパーク）による起業件数：R6-9累計100件（R1-4累計59件）〕
- 事業承継ネットワークによる円滑な事業承継の促進
- 地域商業機能の維持

横串

第8策

デジタル技術の活用

1 情報通信基盤の整備促進

- 光ファイバ等の整備
 - 〔住民が希望する居住地における光ファイバ等整備率（世帯ベース）：100％（99.13％）〕
- 携帯電話の不感地の解消

2 デジタル技術を活用した中山間地域の課題解決

- 遠隔教育の推進【再掲】
- オンライン診療による医療提供体制の確保【再掲】
- 伝統的な祭り・民俗芸能のデジタルアーカイブ化【再掲】

- 農業のデジタル化による生産性の向上【再掲】
 - 〔IoTクラウドSAWACHI利用農家数：3,530（740）〕

- スマート林業の推進【再掲】

- デジタル技術を活用した効率的な漁業生産体制への転換（高知マリンイノベーションの推進）【再掲】

3 デジタルデバイドの解消

- 高齢者等へのデジタルデバイス対策の推進